

二度としてはならない戦争

渡慶次小学校 六年 玉城 綾美

私は、平和とは、みんながしあわせでえがおがありせんそうのないうちなことだと思っています。

沖縄では、今から八十年前に沖縄戦がありました。沖縄戦については、ニュースで知ったことがあります。沖縄戦では、食べ物も少く常におなかがすいていいるようなじょうきょうで、学校などでぐんきょうをするような

どなく、家ごとをなくしていいる人もいたそうです。戦争についての話を聞いて、今がどれだけ平和なのか分かりました。

学校でもチビチリがマとシムクがマについて学しゅうしました。その学しゅうで学んだことは、チビチリがマではひなくしていた住民が火をはなったりどくがはものもちいとしゅうだんじけつをしいられた。戦争によりあせいの人がしゅうだんじけつで命をおとしたり。シムクがマでは約千人もの人がひな人と

ていました。その中にハワイがえりぐえい語
を話せる人がいて思ふ棋はうそだとみなさ
つとくさせじゅうだんじけつを思いとどまら
せ金買が保ごさぬ死者はでていないと言われ
ている。えいごが話せる人がいたため約千人
もの人がすくおれたのです。

現代の日本では、戦争はおきていまだ人し
かし、海外では、今でも戦争がつづいていこ
うクライナでは二千十二年二月にロシアが
ウクライナの軍事侵攻を開始し、現在も激

しい戦争がつづいていそうです。

戦争があると、多くの人の命をうばい、
ふかいきずを付けてしまふと思ひます。

では、戦争のない世の中にするためには、
一人一人が相手を思いやる心をもち、戦争を
してはならない、人をきずつけてはなかな
いといふことをみんなが知って、いれば戦争はお
きないと思ひます。

私たちがいまできることは、家ぞくや友だ
ちから、戦争や人をきずつけるようなことを

してはなかなかいというときをおしえたりなど
をして、戦争はひどくかなしいことだとい
うときおんなにおぼえてもがいたいです。